

第5回西東京市商店街振興プラン策定委員会 議事録

日 時：平成14年10月8日（火）9:30～11:00

場 所：西東京市役所田無庁舎 203 会議室

出席者：委 員（政所委員長、金委員、深沢委員、中村委員、奥田委員、池田委員、
弓田委員、石部委員、）

西東京市（産業振興課長、主幹、課長補佐、係長、主査）

(財)東京都中小企業振興公社 多摩中小企業振興センタ - 課長補佐（安田）

(株)日本能率協会総合研究所（篠崎）

欠席者：委 員（高市副委員長、高崎委員）

1．資料の確認

（省略）

2．前回議事録の確認

異議なし

3．西東京市商店街振興プランの策定について

（議事）

政所委員長 報告書の表紙に西東京市商店街振興プラン策定委員会と入っており、この委員会で議論をしてまとめたものという形にしたいということについて、事務局の方から説明をしてほしい。

事務局（東原） 策定委員会の中で集約したものを報告書という形で提案してもらおうという意味合いから、本日は最終回なので、西東京市商店街振興プラン策定委員会の報告書案として出し、本日の審議で固まったものを「案」とった報告書という形で策定委員会から西東京市へ提案してもらい、それを受けて市が振興プランを策定するという形を考えているので、ご了解頂きたい。

政所委員長 本日の議論は、配布している報告書案について、あくまで策定委員会が主体的に答申するというのを踏まえて話していただきたい。

池田さん、奥田さんから事務局宛にご意見を伺っているが、お二人の共通意見を事務局から報告してほしい。

事務局（東原） 共通した意見として、P23までは参考程度として資料扱いで良いのではないかということから、P24以降を委員会の要点として前にもっていき、P1～23を巻末にもっていった方がよいのではということである。

政所委員長 それ以外の細かい点も含めて皆様から意見を伺いたい。

この振興プランは、市民の方が様々な機会に触れていただけるよう、また事業主体である商店街の方もより身近に、積極的に何かをやっていこうという場合に、より効果のあるものでなければならないと考えている。

特に、これまでも数人の方から、できる限り広くみんなにみてもらうため

に薄くてもよいから、これから西東京市がこういうことをやっていこう、やっていきたいという意志があるということを経験したことを簡単なペーパーでまとめられると良いのではないかという意見もあった。このあたりも含めて皆様のご意見をいただきたい。

池田委員 前段については、参考資料的なものであり、地元の人は既にこういう情報は承知していると思うので省略するか、もしくは後ろにもっていくのであればそれでもよいのではないか。

政所委員長 池田さんからご指摘（別紙）いただいた中で、例えば自転車の問題についても重点プログラムの中にきちっと反映させ、早急にしなければならぬ大きな問題ではないかと思う。

また、「街なかサロンの開設」についても、具体的に準備なり、トライアルをやっていこうということで、ハードは後になっても、活動は少し前倒しにできると思う。そのあたりも報告書に入っているということが重要なので、今の具体的なご意見、ご指摘を頂けるとありがたい。

奥田委員 始めに資料がくると、最後の大事な部分まで読み続けられないことが多いので、例えばポイント集が目次代わりにあって、本体、資料があるというほうがよいのではないか。

様々な意見をまとめて、計画にしているという感じは受けるが、どうしてそうなったのか、自分の中で消化しきれていないところがある。

どういう人が読むのか、よく読めばつながっているとは思いますが、不明解というか読みづらいように思う。

突発的な意見だが、具体的なものとして、ひばりが丘団地の商店街は空き家が半分以上あるので、全部をリサイクル店にしてしまう。そうすると結構、楽しい街になり、生鮮三品の身近な商店街よりも特殊な商店街となるように思う。

政所委員長 編集上、読む人にとって、どちらがよいか非常に重要で、正直なところ報告書をまとめる時に一番悩ましいところであり、前にもってくるか、後ろにもってくるかということは単純なようでいて大変重要なことだと思う。

それぞれの意見の中でどちらがよいか言って頂けたらと思う。

また、最後のお話しは、個店の問題だけでなく、ストリートとしてテーマ性のある商店街ということか。

奥田委員 報告書を読んでいて、こういうことをまとめたいというのはわかるが、まとめにあたってどこかで読んだことがあるような話がでてくると、私自身は西東京市らしさを感じられないように思う。

私達の委員会の中での不足部分を補ってくれているということはよくわかるが、今回の委員会での大事な部分だとは思えない。

事務局（長谷川）行政側がプランに基づいて計画的なものを実行していくというだけでなく、逆に商店街、商工会の人達がやりたいことを行政側に対応してもらえないかという形のもので、ある程度意見の集約の中で出てくれば商店街の活性化について捉えられると思う。

政所委員長 最後の部分に計画表という形で事業計画があるが、これは市民の要望と行政のこれからの施策ということで、すりあわせとしてプランの形になっていく。

具体的な表になると、色々な形で影響力があると思うので、皆さんでもう少し前倒しのほうが良いのではないかというものは、文章も積極的に論調を変えていっても良いのではないか。

石部委員 構成の問題については、前後を変えるという意見もあるが、これでもいいかなという感じもする。

具体的な駐輪場等のアイデアがあればよいが、委員会の回数の問題もあり、そこまで踏み込める時間がなかったように思う。

年度別のプランについても今までの話からいうと、こんな感じかなと思う。

個人的にはICカードについてももう少し考えたい。ICカードのところは、もう少し早くから着手してもよいのではないかという感じを持っている。

政所委員長 今、ご指摘いただいた点も大変重要だと思う。

共通スタンプの検討等も色々されているので、商店街が積極的に時代の流れを取り込んで、いましてやっとなければならぬことであれば、予定が平成16年度、18年度であっても前倒しで考えていくというのはどうか。

深沢委員 共通スタンプについては、商工会青年部の方でも、早くやってみたらという話がでたところであるが、内部での手続きに時間がかかるので、なんとか平成15年度ぐらいには計画に入りたいと考えている。

政所委員長 最終的にはICになっていくであろうが、平成16年からやっとな腰を上げるのではなく、既に検討しているという情報を取り込んでいくことが重要だと思われる。

プランは決意表明でもあるので、検討中でも何らかの情報を取り入れられればと思う。

金委員 順番については、池田さんや奥田さんの意見を聞いておっしゃる通りだと思った。どういう提案になったという資料として逆にもってきてもらいたいと思う。その時にデータの羅列だと証拠だということがわからないので、意見がでてきた背景として載せるとわかるのではないかと思う。

グラフなども初めて見る方も多いので全部あったほうがいいが、その時にグラフや表の出典を明らかにした方がより親しみが感じられるように思う。

自転車対策はまちづくりにも関わってくるので、本当に重要だと思っている。国立市の大学通りのパネルディスカッションで、例えば駐車を半分減らして自転車置き場にする。駐輪場に止めるとポイントがつく。車線を1本減らして自転車道路と駐輪場にすればよいなど極端な意見もあり、様々なことが検討されている。

「まちづくり懇談会の開催」というプランが入っているが、消費者の方からは自転車問題が必ず出てくる。みんなが自転車置き場に止められ、気持ちよく使ってもらえるよう、具体的なプランを出して消費者の協力も得ながらやっていけるとよいと思う。

そのためにも、「まちづくり懇談会の開催」はよいことだと思う。

「街なかサロン」も懇談会の中でつくっていくことができるし、平成19年以降でなくとも商店街の活性化の取り組みの一つですぐできることであり、例えば商店街にベンチを置いただけでも「街なかサロン」になり、簡単にできるこ

とをまちづくり懇談会などから意見を拾って具体的に始めればよいと思う。

奥田さんが提案されていたひばりが丘商店街をリサイクルショップにするというのは大賛成である。

少し昔のデータだが、中小企業事業団のテナントミックスの調査の中で、同業種の集まりの商店街と異業種の集まりの商店街では同業種の集まりの方が、若干効果があるという結果が出ている。

リサイクルショップで特徴づけると、人が集まり他の商店も潤う。そういう考え方は素晴らしい。

生活している人の意見を聞いて取り入れると、より具体的に素晴らしいものになると思う。

政所委員長

私の方から提案させていただくと、重点プログラムの流れを整理しているなかで、どちらかというハードの整備が整った後で、街なかサロンを整備することになっているが、ベンチを置くところからやっという意志さえあれば何らかの形でできる。平成19年というずいぶん先のイメージがあるので、具体的に出てきたプロジェクトについては、特に継続的に横のバー(継続事業)で示してはどうでしょうか。

行政につくってほしいという時代ではなく、むしろ市民の意向ということが重要なので、準備会をやる、市民に呼びかける、商工会の方でもキャッチボールしながら目標に向かっていく。そういうことは横のバーがあるとくみ取れるのではないか。

奥田委員

「街なかサロン」の件だが、各お店に椅子やベンチが1つあるだけでも、休めるし、荷物も置いていいと思う。

横のつながりということで、前に石部さんがおっしゃった西東京のデータベースをつくるということも大切だと思う。

どこで買えばよいかという問いかけに親切な対応をしてくれればこの店はいいと思うが、対応が悪いともう行く気がしない。

同業者組合のようなものがあって、データベースをもっていると心強い。

石部委員

色々なお店があっても買いたいものがないと結局行かない。買いたいものが買えるということでお客さんが集まってくる。

このデータベースは商店会などが自主的に行い、行政がサポートするという形でできないか。これができるとう商店街にとっては相当なインパクトになると思われる。

政所委員長

買えるか買えないか、次に、買う方法がわかるかわからないか、買えなかったが使い方を教えてもらったなど、接触したときにプラスがあるかどうかは重要なことである。

根本的な問題であり、文章では「地元のニーズに応える」とさっと書いてあるが、小さな商店が大型店のように品揃えができるわけでもなく、そうなると同業分野のネットワーク化が必要で、商品情報の共有化ということが具体的にニーズに応えるということになり、反映されていないとまずいことになる。

石部委員

単にデータを集めたものがデータベースではなく、データどうし横のつながりがあり、自由に使えるシステムでないとデータベースとはいえない。単なる

データとは意味が違う。

データベースを作って、お客さんに聞かれた時にパソコンを使って検索するとどこのお店にあるかわかる。お互いの業者同士でいつでも行える街だということになると、他市からも西東京へ行けば買いたい物がみつかる。そういう情報を発信できればかなりの成果が得られる。

政所委員長 行政が場所（教室）の家賃を出し、駆け込みパソコン教室を始めたら、3ヶ月で商店街の人達がおもしろいと使い始めるようになった事例もある。

商店街が予算をとってまでいかななくても市役所が会場を貸しましょうということであれば、その日からできる。意志さえあればやれる。そういうことをぜひ盛り込みたい。

中村委員 一口に商店街といっても田無の中心と保谷の端のほうでは全然違う。このプランについてはよくできていると思う。

池田委員 この報告書は行政の仕事としてまとめるが、どう活用するのかよくわからない。

事務局（長谷川）今までは行政が補助金を出してこの中で何かをやってくださいとってきたが、これからは消費者の人達を呼び込むため、独自に商店街の人達から何かを出してもらって、こういうことをやるが、何らかの形で行政に手伝ってもらえないかといものを出してもらいたいと考えている。

池田委員 商店街の人が何か言ってきたらしようということか。

事務局（長谷川）このプランに沿った形の中のもので、補助を出していく、タイアップしてこういうものになっていけばよいと思っている。

池田委員 今までのイベントに補助金を出すという形とは違って、行政は要望があればしてもいい、できる範囲はこれぐらいとこの中に書いてあって、これを商店街、商工会の人に渡して、その人達がこんなことをやりたいからどうかということを応えてもらうためのものだと考えてよいのか。

これだと意志が伝わりづらく、今のことを伝えるには体裁を考えるべきだと思う。

弓田委員 どの方を対象にしてこの資料ができているのかわかりづらい。できあがった資料があまりにも厚くて立派だったし、具体的に年度も入っていたので自分でどう対応していいかわからなかった。

この冊子ができたことによって、地元の商店街が活性化すればいいし、商店街の人達がこれを読んだときにやる気になる資料になるとすごくうれしいと思った。

それぞれ年度が書かれてしまうと単純にその間でやるのかと思う。しかし、やれるものからどんどんやっていけばいいと思う。プランニングにないことでもまちづくり懇談会で出た意見など対応できる柔軟さがあればよい。

消費者のニーズが多様化され、私は私の考えでしか物が見えていないので、私以外の消費者の方々がその地域で何を要求されているのかよくわからないが、行政が主体となって懇談会をセッティングして下さることが明確になったのはうれしく思う。市民にチャンスがあり、意識が芽生えてくるととてもいいのではないか。

安田委員

前段は巻末資料でもいい。起承転結の結を先にもってきてもよいと思う。ただし、その時に注意しなければならないことは、現状の問題点は西東京市独自のもののできているので、起承転結の結を先にもってくる場合は他市と違う意味合いを書いておかないと、西東京市を他市に変えればよいじゃないかというような恐れがでてくる。

西東京市といっても保谷、ひばりヶ丘、田無、柳沢、東伏見、それぞれ違い、色々な生い立ちも違う。

西東京市らしさをつくるということは、今後の商業者の最大の課題として我々も支援し、商店街も街の顔をつくっていくことが必要である。

「西東京らしさをつくる」という表現はおもしろい。

「街なかサロン」や同業種のデータベース化は非常に参考になった。

単純にポイントカードのＩＣ化に向いてしまうが、同業種のデータベース化は商工会が着手すると、個店の経営力の向上につながると思う。

まちづくりは個店が強化しない限りだめだが、個店が全部品揃えをすることは不可能。そうなると同業種の横のネットワークがおもしろくなってくる。

政所委員長

順番の話は冒頭から出ているが、ある程度今の時代にあったスタイルを考えて、結論を前にもってくるという方がいいのではないかと感じている。

ただ前提になっている資料で残すものは残す、後ろへもっていくものは資料編ということでどうかと思う。

西東京市はこういうところで、これまでの調査でポイントとしてでているいくつかの問題点については整理する必要がある。例えばブロック毎に問題点があるものについては残しておいた方がよいのではないか。

なるべく簡単に明瞭に前に持ってくるというような編集をさせていただけたらと思う。この辺りはお任せいただけたらと思う。

「データベース化」「西東京市らしさをつくる」というのは運動のテーマとして同列扱いをするというよりはトーンを協調していったほうがよいと思う。

取り組みの主体についても、進行形の形で整理し直し、みなさんにみていただけたらと思う。

池田委員

行政、市民など主体の順番を考えた方がよいのではないか。

政所委員長

まとめ方はお任せいただいて、今日ご意見があったことを盛り込んでいきたいと思う。

池田委員

具体的な話をどこかに入れていくということとはできないか。例えば地域通貨であれば、地域通貨がどうして商店街の振興にうまくドッキングするのかというようなことの説明や具体例があったりするとわかりやすいように思う。その時、どこの例が明らかにしておくことも必要だと思われる。

政所委員長

参考事例ということで、もう少し盛り込むとページが増えるが、その辺は事務局としてよろしいか。

事務局（長谷川）結構です。

政所委員長

具体的に市民の要望もあり、これから行政と市民が共同作業としてやっていけそうなことで、他の事例で活性化につながるものがあれば資料として盛り込んでいく。

「らしさ」をつくり続けるのが西東京市らしさだと思う。

また、ブロックや地域ごとに検討、解決することがあり、そのために「まちづくり懇談会」、「街なかサロン」の開設が必要となってくるので、ぜひ前倒しでスタートしていければと思う。

データベースなどもいいきっかけになっているので、できる、できないは別としてその方向で検討することを位置づけていくことが大事だと思う。

石部委員

文章の中にはっきりと西東京市独自の商店街の商品データベースを進行させる、重点プログラムで推進するといったことを前面に出した方がいいと思う。他市ではまだないと思うので、それ自体が「西東京市らしさ」につながっていくよう前面に出し、どういう風にやるかというのは次の問題となってくる。

西東京市独自にやってネットワークがつながっていくと、最終的には東京都、全国へとつながり、世界の中で独自の個々の商店の活性化につながっていく。

政所委員長

優先的なプロジェクトを考えていくことが大切なので、「商店街まちづくり懇談会」のようなところで検討していければと思う。

重点プログラムの流れについては、従来型の短期、中期、長期という表の作り方ではなくて、進行形の形で表現させていただきたい。

皆さんの意見としてでたものとしては、表現としてトーンが弱いというところが少しあるので、編集の仕方を改正し、後半部分も少し手直しをするので、個々のご意見があったら、事務局のほうに寄せていただきたい。

最後にご挨拶をさせていただきたい。

振興プランを策定委員会の名前で答申するので、皆様の貴重なご意見を極力盛り込む形で答申させていただきたいと思う。

「西東京市らしさ」をつくっていくということで、すばらしいキーワードが出たと解釈している。大都市でいきなり“らしさ”といっても市民の方が「らしさ」をつくろうという意志がない限り“らしさ”は出てこない。やわらかいことばであるが、非常に重要だと思っている。

今後も西東京市の応援団であり、主体であるというメンバーでもあるので、「街なかサロン」や「懇談会」など色々な形で関わることになると思うが、よろしくをお願いしたい。皆様に心から感謝し、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

事務局

振興プランができて、行政だけがやろうとしても、商店街や消費者の動向が一番大事なので、商工会や商店街と協力して充実させていきたい。ありがとうございました。